

丹羽織江家筋



丹羽織江とは丹羽氏張が使用した通称名。その氏張の祖である丹羽氏之の尾張藩士に至る経緯を中心に記し、氏張の家筋を証明する文書です。

丹羽氏之は3代目岩崎城主である丹羽氏勝の弟・氏常(氏国)の孫にあたります。氏之は平岩親吉に仕え、親吉死後は尾張藩主・徳川義直に小姓として仕えたとされます。大坂の陣では義直に従い供をしたとも記されています。様々な職を歴任し、尾張藩丹羽家の基礎を築きました。

尾張藩丹羽家は本家丹羽家と対等な関係でつながっており、尾張国において本家の代理のような役目を担っていたと思われます。